

「省エネ冬の県民運動」の取組みについて

〔資料内容〕

1. 山形方式節電県民運動(夏期の取組み)の実施結果【概要】

- 1-1 最大電力発生日の比較(需要家別内訳・節電効果等の試算)
- 1-2 各支店別の今夏における最大電力・日電力量の実績について
- 1-3 H22年度とH23年度の最大電力使用日の電力使用量比較(山形県)
- 1-4 今夏の「ライフスタイル調査」結果の概要(株ウェザーニューズ)

2. 今冬の需給見通し等(東北電力)

- 2-1 主な発電所の運転状況
- 2-2 火力発電所、水力発電所の復旧状況(写真)
- 2-3 今冬の当社の需給見通し(H23. 11月時点)
- 2-4 今冬の当社の需給見通し(H23. 12月時点)
- 2-5 夏季と冬季の電力需要の比較
- 2-6 今冬の節電取組みのお願い
- 2-7 具体的な節電取組み事例

3. 今冬の電力需給対策について(国)

4. 「省エネ冬の県民運動」について

- 4-1 「省エネ冬の県民運動」
- 4-2 省エネ冬の県民運動 チラシ

山形方式節電県民運動(夏期の取組み)の実施結果【概要】

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響等による電力不足に対応するため、県では、今年の夏に県民を挙げた節電運動『山形方式節電県民運動』を実施し、県民の皆様に節電への御協力をいただきました。

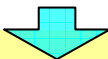
- 【実施期間】 平成23年6月～9月（6月 PR月間、7～9月 強化期間）
 【実施対象】 県内企業・事業所、各世帯など県民全体（病院・福祉施設を除く）
 【取組の柱】 ① ライフスタイルの見直しによる節電の実施（早寝早起、家庭・地域の絆の強化）
 ② ピークカットに向けた節電運動の実施（特に需要が高まる時間帯の需要抑制）
 ③ 県民の主体的な参加による運動展開（県民や企業の英知を結集）
 【削減目標】 昨年同時期比 ピーク時の**15%電力削減**（大口需要家に対しては、電気事業法に基づく▲15%の使用制限）
 【実施結果】

<主な経緯>

- 5月25日 第1回社会実験 ⇒ 昨年同時期比で**12%電力削減**（17～19時の2時間平均値）
 5月31日 第2回社会実験 ⇒ 昨年同時期比で**12%電力削減**（13～15時の2時間平均値）
 6月 3日 「山形方式節電県民運動」開始宣言（知事等により山形県地球温暖化防止県民運動推進大会にて）
 7月 7日 エアコン対策一斉運動 ⇒ 昨年同時期比で**19%電力削減**（13～15時の2時間平均値）
 7月23日 家庭用節電事例集の新聞折込みによる各戸配布（山形・朝日・毎日・読売・日経新聞）
 7月25日～ 31日 特別強化期間①
 8月 9日～ 20日 特別強化期間②（※8/9 山形市で今夏最高気温34.0℃を記録）

<関連イベント等>

- 特別強化期間①における「節電フェスティバル」の開催
 （村山、最上、置賜、庄内の4地域において、打ち水やキャンドルナイト、コンサート、浴衣祭り等を実施）
- 節電標語(小・中学生対象)、節電川柳(一般対象)の募集
 （応募総数:標語5,380点、川柳636点、計6,016点 優秀作品には協賛市町村提供の賞品を進呈）



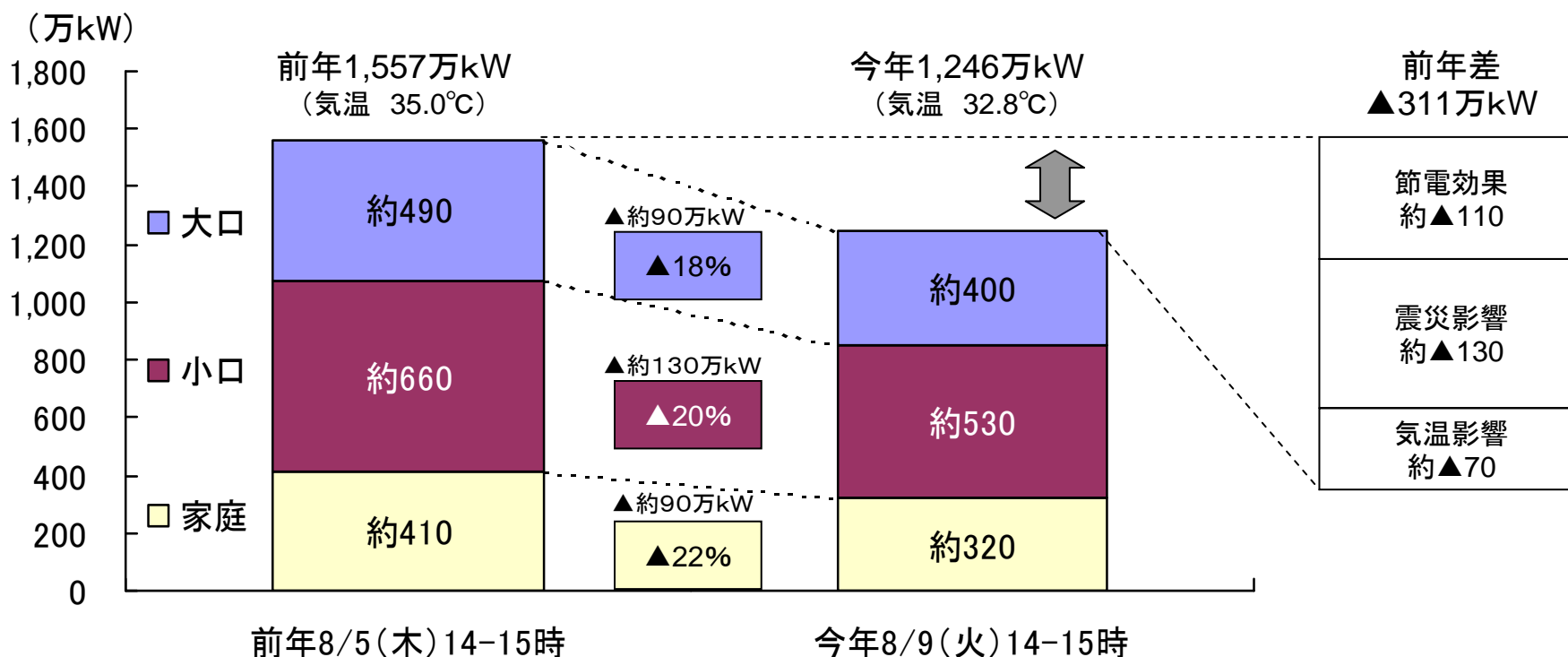
《成 果》

- ◆ 最大電力発生日の最大電力対昨年比で**▲20%**を記録（東北電力管内では、甚大な被災県である宮城・福島を除くと1番の節電率）
- ◆ 目標を上回る削減率を達成（格別な御理解と御協力の現れ 使用制限令による影響も大）
- ◆ 計画停電や需給ひっ迫による不測の停電を回避（社会的、経済的な混乱・危機を回避）
- ◆ 省エネ対策の促進やエネルギー問題に対する関心の高まり

～ 県民の皆様の多大なる御協力に、改めて深く感謝申し上げます ～

最大電力発生日の比較(需要家別内訳・節電効果等の試算)

- 今夏の最大電力は、震災の影響に加え、節電にご協力いただいたことや気温影響などから、前年に比べ大幅に減少(全体で▲311万kW、対前年比▲20%)。
- 需要家別では大口、小口、家庭ともに20%程度の減少がみられたものと試算。
 - 大口(▲18%)、小口(▲20%)、家庭(▲22%)
- 減少要因を節電効果約110万kW、震災影響約130万kW、気温影響約70万kWと試算。



- (注1) 大口は契約電力500kW以上の大規模工場、商業施設などのお客さま。小口は契約電力500kW未満の高圧受電の工場、事務所・ビルなどのお客さまおよび小規模商店、事務所などのお客さま。家庭は一般住宅などのお客さま。
- (注2) 大口は、収集した毎時間実績データを集計して推計。実績値を収集していない小口(高圧)は、大口データを参考に契約電力、販売電力量実績などから推計。
- (注3) 気温は東北7県の県庁所在地7都市の最高気温の平均値。

各支店別の今夏における最大電力・日電力量の実績について

■最大電力

(単位: 万kW, °C)

	青森			岩手			秋田			宮城		
	最大電力	発生日	最高気温	最大電力	発生日	最高気温	最大電力	発生日	最高気温	最大電力	発生日	最高気温
今夏の記録	122(81.3)	23.8/ 7	31.1	130(80.2)	23.8/ 9	33.6	123(86.6)	23.8/ 8	32.1	213(73.4)	23.8/10	33.8
昨年夏の記録	150	22.8/ 6	36.6	162	22.8/ 6	35.8	142	22.9/2	33.9	290	22.7/23	35.0
過去最大記録	150	22.8/ 6	36.6	162	22.8/ 6	35.8	144	19.8/ 3	37.0	290	22.7/23	35.0

	山形			福島			新潟		
	最大電力	発生日	最高気温	最大電力	発生日	最高気温	最大電力	発生日	最高気温
今夏の記録	136(80.0)	23.8/ 9	34.0	235(77.3)	23.8/10	36.6	307(86.2)	23.8/ 9	32.7
昨年夏の記録	170	22.8/ 5	36.6	304	22.8/24	37.6	356	22.8/ 5	34.9
過去最大記録	170	22.8/ 5	36.6	308	20.8/ 7	37.2	356	22.8/ 5	34.9

()内は前年比%(今夏の記録/昨年夏の記録)
最高気温は県庁所在地の値

■日電力量

(単位: 万kWh)

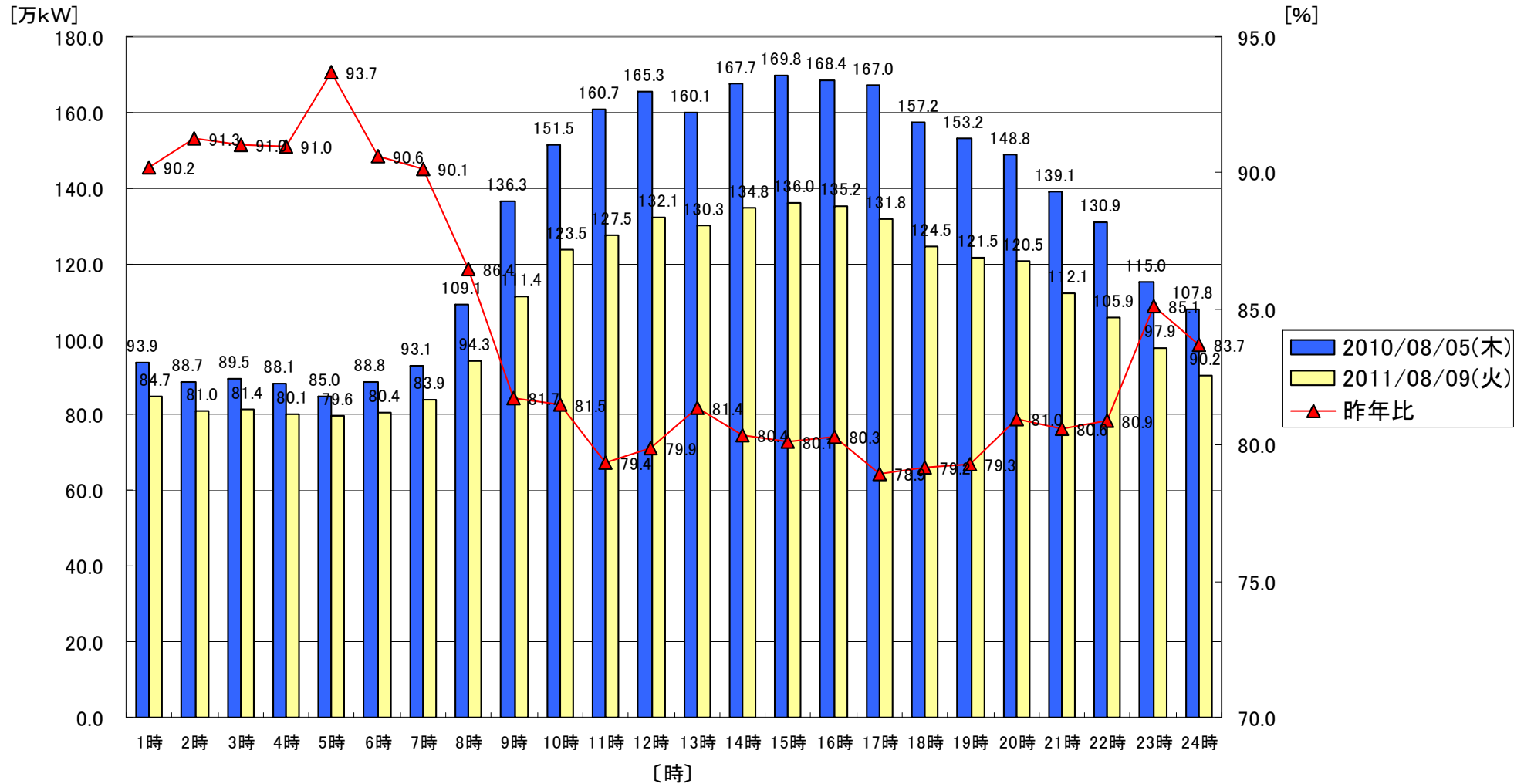
	青森		岩手		秋田		宮城	
	日電力量	発生日	日電力量	発生日	日電力量	発生日	日電力量	発生日
今夏の記録	2648(85.5)	23.8/10	2599(83.5)	23.8/ 9	2579(91.8)	23.8/ 9	4136(73.7)	23.8/10
昨年夏の記録	3,096	22.8/6	3,112	22.8/ 6	2,809	22.9/2	5,612	22.8/5
過去最大記録	[3,096] 3,307	[22.8/6] 22.12/25	[3,112] 3,378	[22.8/ 6] 23.1/12	[2,818] 2,975	[18.8/17] 23.1/20	[5,612] 5,851	[22.8/ 5] 20.1/18

	山形		福島		新潟	
	日電力量	発生日	日電力量	発生日	日電力量	発生日
今夏の記録	2601(82.8)	23.8/ 9	4589(79.4)	23.8/10	6053(89.4)	23.8/ 9
昨年夏の記録	3,141	22.8/ 6	5,777	22.8/24	6,773	22.8/ 5
過去最大記録	[3,141] 3,176	[22.8/ 6] 20.2/14	[5,871] 6,077	[20.8/ 7] 20.2/13	[6,773] 7,049	[22.8/ 5] 22.1/14

()内は前年比%(今夏の記録/昨年夏の記録) []内は夏季最大

資料 1-3

H22年度とH23年度の最大電力使用日の電力使用量比較(山形県)



今夏の「ライフスタイル調査」結果の概要 (公表資料からの抜粋編集)

民間気象予想会社の株式会社ウェザーニューズが8月31日、節電などによる生活スタイルの変化を調査した『ライフスタイル調査』の結果を発表。概要は下記のとおり。

【調査方法】

調査対象: 携帯サイトおよびスマートフォンを通し、2471人(男性53%、女性47%)の有効回答をまとめたもの
調査期間: 8月14日(日)～18日(木)

【調査結果】

◆節電努力

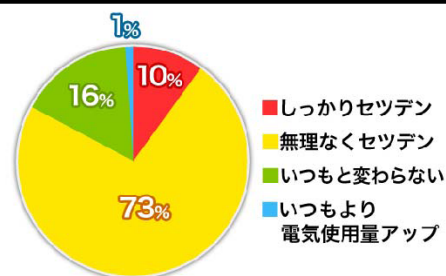
・“しっかりセツデン”が10.2%、“無理なくセツデン”が72.3%で、合わせると日本人の8割以上が節電の努力をしていた。

・“しっかりセツデン”または“無理なくセツデン”との回答結果を都道府県別に見ると、**山形県**と佐賀県は**100%で全国1位**。以下、3位が長野県96.0%、4位が秋田県94.7%、5位が大分県92.9%

・男女別にみると、男性は79.0%、女性は86.7%で、女性の方が心がけている。

・年齢別にみると、50歳代が87.1%と最も高く、年齢が高い人ほど努力している傾向。

セツデン努力はしていますか?



◆体調の変化

(“しっかりセツデン”または“無理なくセツデン”と回答した人)

・“いつもより良い”が10.4%、“まあまあ良い”が14.8%、“変わらない”が56.0%で、合わせると8割以上が体調が良い。

◆暮らしへの変化

・“快適に暮らしている”が10.5%、少し変化があるが無理なし”が59.7%、“いつもと変化なし”が25.6%で、合わせると95%以上が暮らしに大きな変化なし。

◆都道府県別のエアコン事情

・家庭で最もエアコンの稼働時間が長かったのは、大阪府で7.76時間、**山形県は3.55時間で41位**。

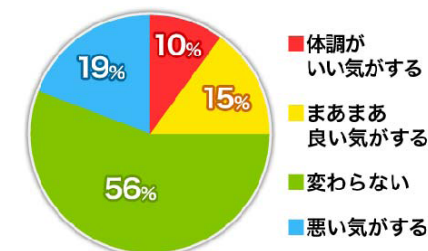
・家にいる時間に対してエアコンの稼働率が最も高いのは、島根県で76.1%、**山形県は25.0%で43位**。

・家庭で最もエアコンの設定温度が低いのは、北海道で25.6℃、**山形県は27.6℃で45位**。

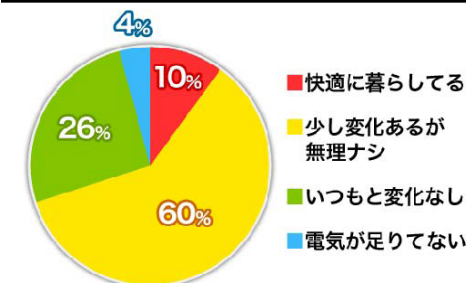
◆快適に過ごすための今夏の購入アイテム

・トップは“扇風機”で719人、続いて“ヒンヤリスプレー”が689人、“ヒンヤリ寝具”が631人、“ヒンヤリ衣服”が542人。
・扇風機の購入はエアコンの3倍にも及んだ。

いつもの夏と比べて体調はどうですか? (セツデン努力している人のみ)



いつもの夏と比べて暮らしはどうですか?



★=緊急設置電源

東通原子力発電所（青森県下北郡東通村）			
運転状況	号機	出力	
停止中(定期検査中)	1号機	110万kW	

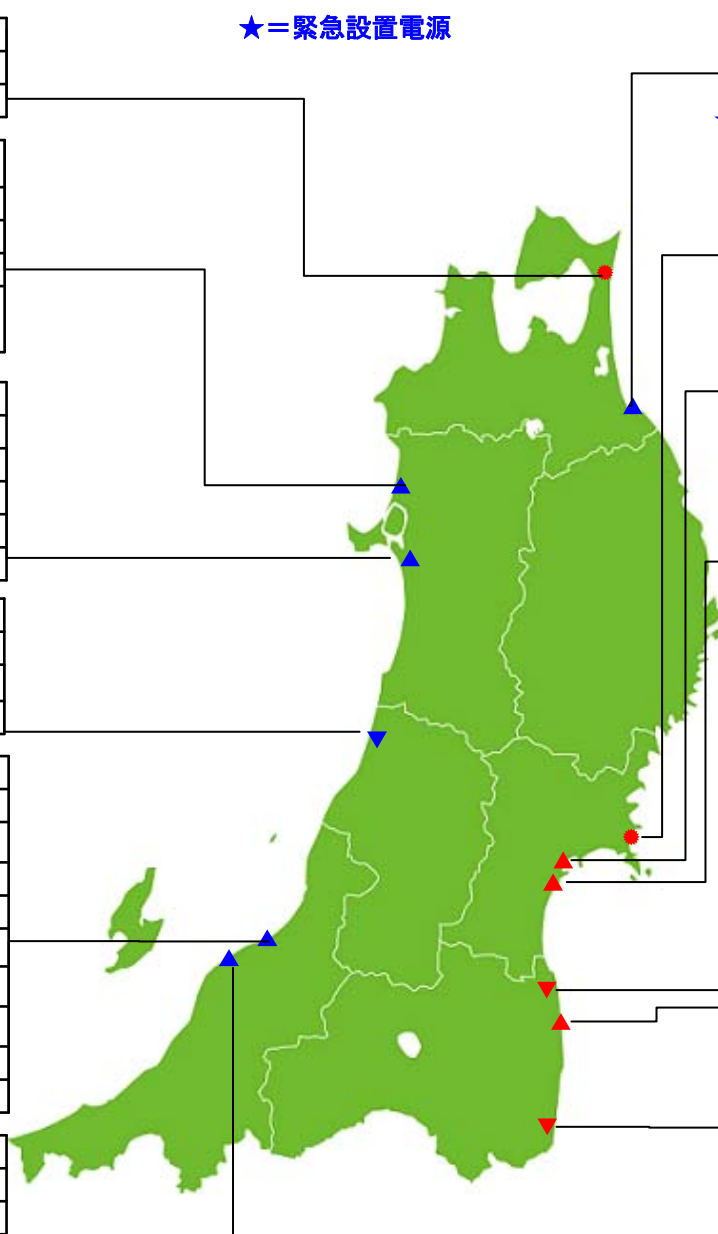
能代火力発電所（秋田県能代市）			
運転状況	号機	出力	燃料
運転中	1号機	60万kW	石炭
運転中	2号機	60万kW	石炭
★ 運転未定	NAS電池	8万kWの半量	—
運転未定		8万kWの半量	

秋田火力発電所（秋田県秋田市）			
運転状況	号機	出力	燃料
運転中	2号機	35万kW	石油
運転中	3号機	35万kW	石油
運転中	4号機	60万kW	石油
★ H24.7運開予定	5号機	33.3万kW	石油

酒田共同火力発電所（山形県酒田市）			
運転状況	号機	出力	燃料
運転中	1号機	35万kW(全量当社受電)	石炭
運転中	2号機	35万kW(全量当社受電)	石炭

東新潟火力発電所（新潟県北蒲原郡聖籠町）			
運転状況	号機	出力	燃料
運転中	1号機	60万kW	LNG
運転中	2号機	60万kW	LNG
運転中	3号系列	121万kW	LNG
運転中	4号系列	170万kW	LNG
★ H24.7運開予定	5号機	33.9万kW	LNG
運転中	港1号機	35万kW	LNG
運転中	港2号機	35万kW	LNG
★ 運転中(8/26運開)	港3号系列	5.38万kW	石油

新潟火力発電所（新潟県新潟市）			
運転状況	号機	出力	燃料
運転中	4号機	25万kW	LNG
運転中	5号系列	10.9万kW	LNG
★ H24.1運開予定	6号機	3.4万kW	天然ガス



八戸火力発電所（青森県八戸市）			
運転状況	号機	出力	燃料
運転中	3号機	25万kW	石油
★ H24.7運開予定	5号機	27.4万kW	石油

女川原子力発電所（宮城県牡鹿郡女川町，石巻市）		
運転状況	号機	出力
停止中(定期検査中)	1号機	52.4万kW
停止中(定期検査中)	2号機	82.5万kW
停止中(定期検査中)	3号機	82.5万kW

仙台火力発電所（宮城県宮城郡七ヶ浜町）			
運転状況	号機	出力	燃料
運転中	4号機	44.6万kW	LNG

新仙台火力発電所（宮城県仙台市）			
運転状況	号機	出力	燃料
運転中	1号機	35万kW	石油
H23.10未廃止予定	2号機	60万kW	LNG
H28.7運開予定	3号系列	98万kWの半量	LNG
H29.7運開予定		98万kWの半量	

(新仙台火力発電所リブレース計画実施)

相馬共同火力発電 新地発電所（福島県相馬郡新地町）			
運転状況	号機	出力	燃料
H24.1復旧見込み	1号機	100万kW(半量当社受電)	石炭
運転中	2号機	100万kW(半量当社受電)	石炭

原町火力発電所（福島県南相馬市）			
運転状況	号機	出力	燃料
H25年夏までの復旧見込み	1号機	100万kW	石炭
H25年夏までの復旧見込み	2号機	100万kW	石炭

常磐共同火力 勿来発電所（福島県いわき市）			
運転状況	号機	出力	燃料
H24年夏までの復旧見込み	6号機※	17.5万kW(半量当社受電)	石油
運転中	7号機	25万kW(半量当社受電)	石炭
運転中	8号機	60万kW(半量当社受電)	石炭
運転中	9号機	60万kW(半量当社受電)	石炭

※ H22.1～長期計画停止中

仙台火力発電所

【震災直後】



【4号機タービン 建屋1階入口】

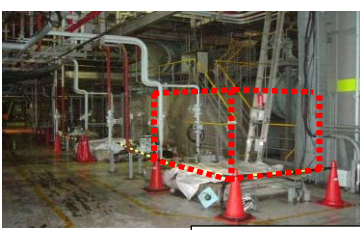
【現在の復旧状況】



壁・天井を復旧中



【4号機タービン 建屋1階 空気圧縮機 ※1 廻り】



空気圧縮機 の搬付準備中

※1 バルブ等を動作させるための空気を作る設備

原町火力発電所

【震災直後】



【1号タービン 建屋1階 復水器 ※2 廻り】

【現在の復旧状況】



【1号ボイラ用ファン 廻り】



※2 蒸気タービンを回した後の蒸気を水にもどして、再び利用するための設備

新仙台火力発電所

【震災直後】



高圧電源盤の上まで浸水

【1号タービン 建屋1階 電気盤室】

【現在の復旧状況】



配電盤を撤去し、基礎架台設定中



【燃料ポンプ室】



上田発電所

【新潟・福島豪雨直後】



【発電機室状況】

【現在の復旧状況】



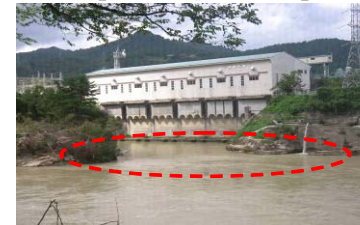
鹿瀬発電所

【新潟・福島豪雨直後】



土砂堆積

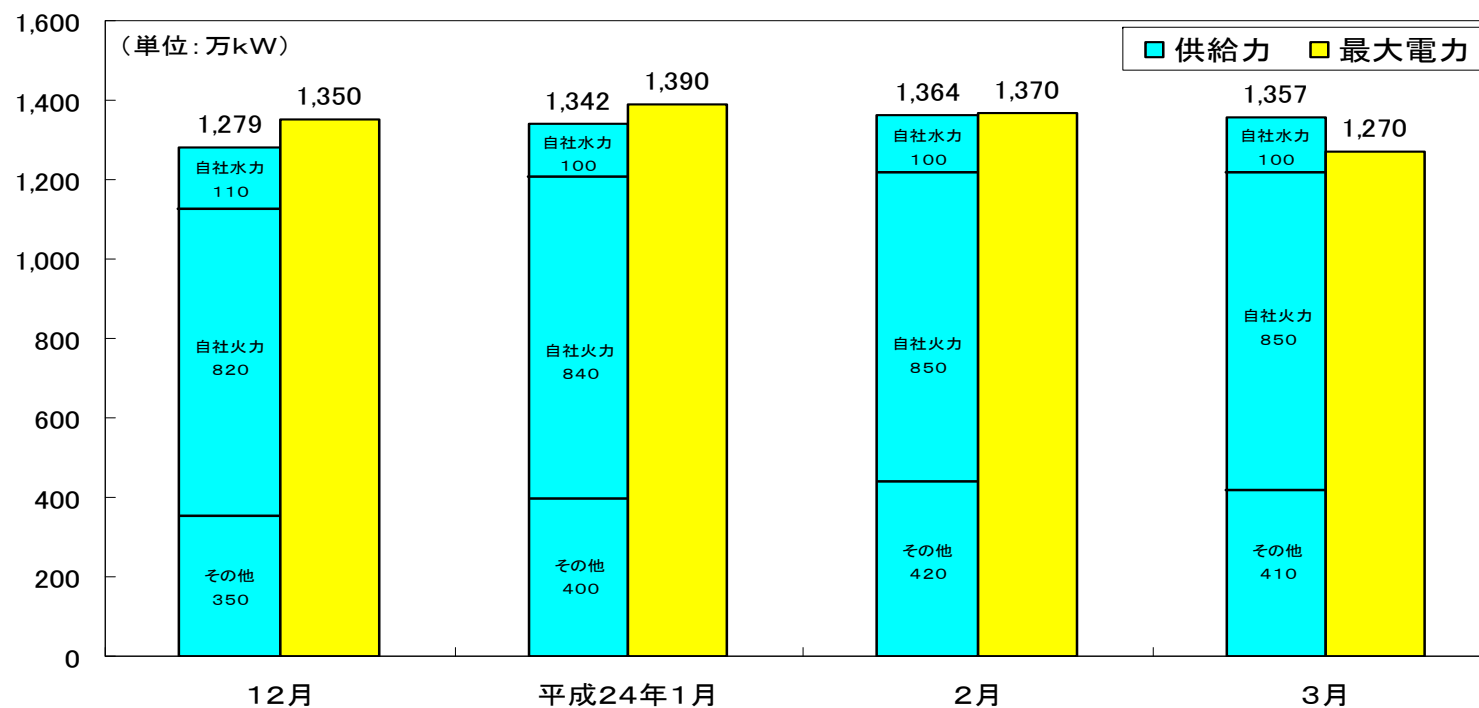
【現在の復旧状況】



土砂堆除

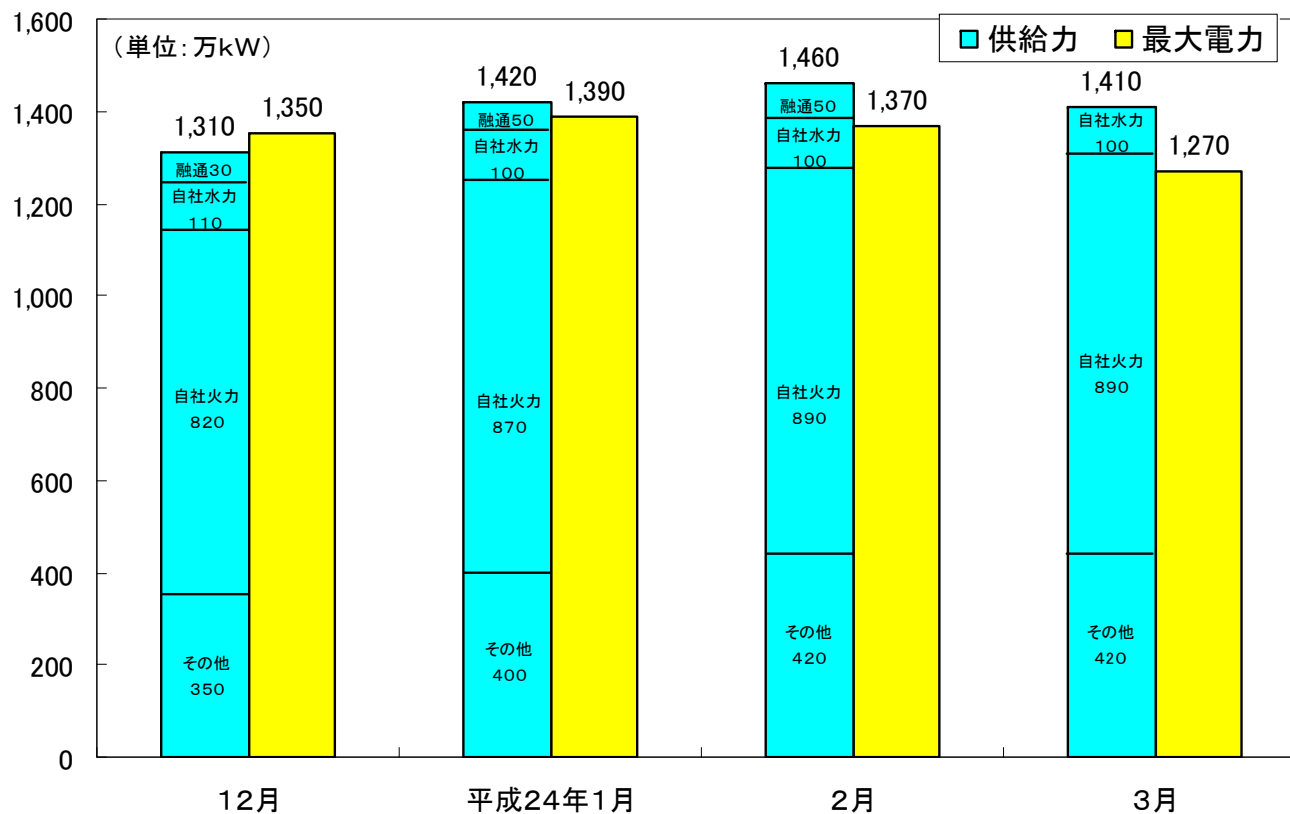
【放水路状況】

○平成23年12月から平成24年2月の期間において、最大電力(最大需要)が供給力(他社からの融通受電は含まない)を上回る需給状況となることを見込まれます。



	平成23年12月	平成24年1月	平成24年2月	平成24年3月
供給-需要	▲71万kW	▲48万kW	▲6万kW	87万kW
(予備率)	(▲5.3%)	(▲3.4%)	(▲0.5%)	(6.9%)
最大電力	1,350万kW	1,390万kW	1,370万kW	1,270万kW
供給力	1,279万kW	1,342万kW	1,364万kW	1,357万kW

・平成23年12月は、最大電力（最大需要）が供給力を上回る厳しい需給状況となることを見込まれる。

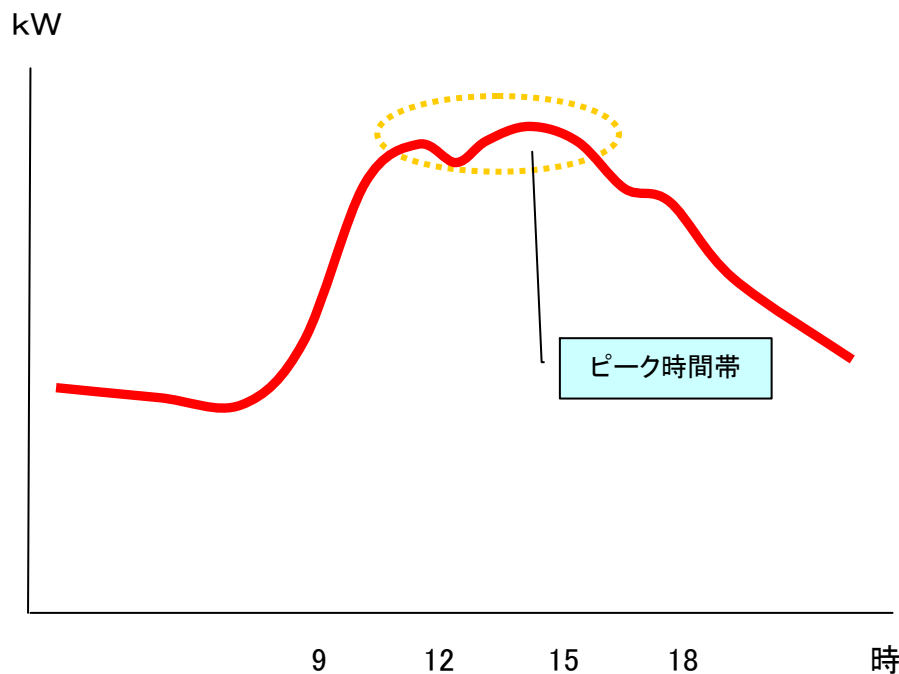


	平成23年12月	平成24年1月	平成24年2月	平成24年3月
供給-需要	▲40万kW	30万kW	90万kW	140万kW
(予備率)	(▲2.8%)	(2.2%)	(6.6%)	(10.7%)
最大電力	1,350万kW	1,390万kW	1,370万kW	1,270万kW
供給力	1,310万kW	1,420万kW	1,460万kW	1,410万kW

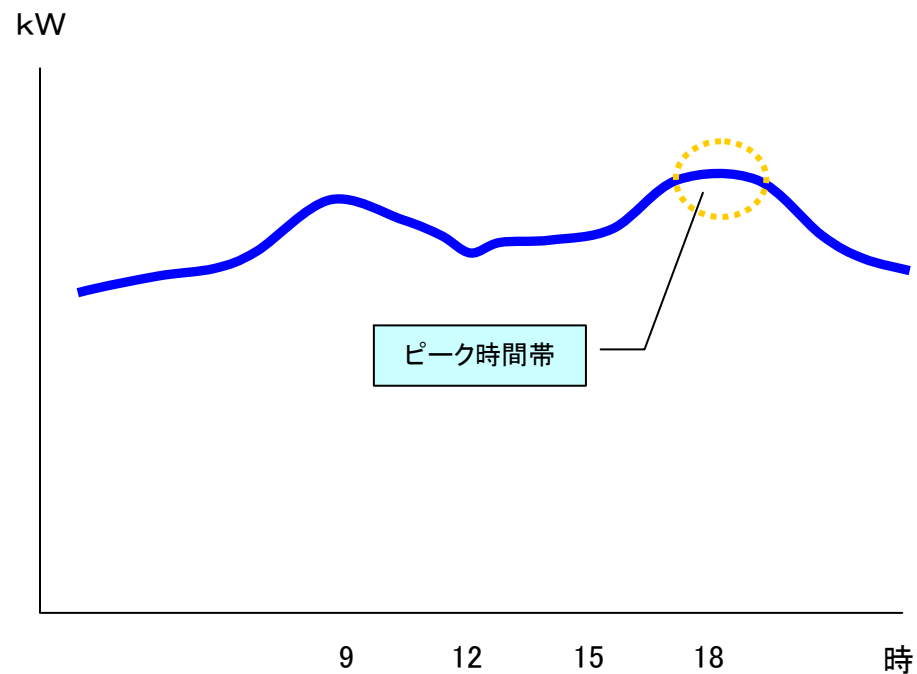
○夏季と冬季の電力需要は、「全体の傾向」と「ピークの時間帯」で特徴が異なります。

	夏季の電力需要	冬季の電力需要
全体の傾向	昼間帯のピークが先鋭化	昼夜間の差が小さくフラット
ピークの時間帯	昼間の14時～15時	夕方点灯時間帯の17時～18時

夏季の電力需要のイメージ

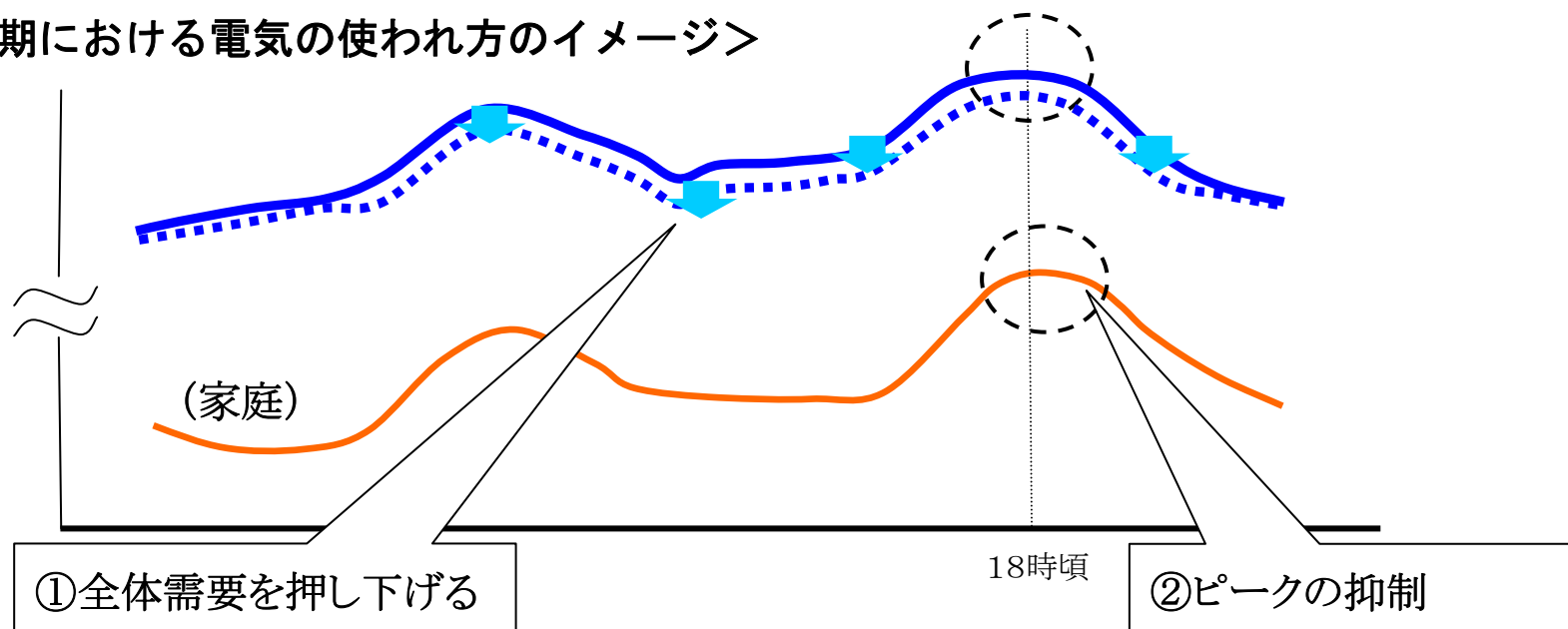


冬季の電力需要のイメージ



- 今冬は、家電機器の使い方の工夫等による待機時消費電力の削減など、無理のない範囲で全体需要を押し下げる節電をお願いしたいと考えております。
- なお、冬季における電気の使われ方は、夕方6時頃にピークを迎えることから、特にご家庭のお客さまは一家団欒で過ごしていただくなど、より上手に電気をお使いいただきたいと考えております。

<冬期における電気の使われ方のイメージ>



<待機時消費電力の削減>

- ・テレビの画面の輝度の見直し、省エネモードの設定、冷蔵庫の室温調整
- ・OA機器のスタンバイモードの設定

<照明など>

- ・オフィス照明の間引き、不使用エリアの消灯の徹底

<暖房>

- ・衣服の調整により、室内温度の20℃を目安に

<照明・暖房>

- ・一家団欒で過ごすことで、照明・暖房器具を効果的に活用
- ・看板用照明などを間引き

○家庭用・業務用のお客さまを中心に、待機時消費電力の削減や照明の間引き等を中心に無理のない範囲でお願いしたいと考えております。また、産業用のお客さまにつきましても、事務所照明の間引き等の取組みをお願いしたいと考えております。

ご家庭のお客さまにおける主な節電例

- <照明> 使用する部屋を限定するなど、不要な照明をできるだけ消灯する。
- <冷蔵庫> 庫内温度の設定を「弱」に変更する。また、食品をあまり詰め込まない。
- <テレビ> 画面の輝度を下げる。また、必要時以外は消す。
- <ジャー炊飯器> 早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊く。保温機能を使用せず、よく冷ましてから冷蔵庫に保存する。
- <エアコン> 重ね着などをして室温20℃を心がける。
- <電気カーペット> 人のいる部分だけを温める。また、設定温度を「中」または「弱」にするよう心がける。

オフィスビルのお客さまにおける主な節電例

- <照明> 執務エリアの照明を半分程度間引き、照明照度を低減する。
- <照明> 使用していないエリア(会議室、廊下等)は消灯を徹底する。
- <OA機器> 長時間席を離れるときは、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにする。
- <空調> ビル全体が適切な温度になるように調整を行う等、適切な温度管理を行う。室内温度を20℃を目安とし、無理のない範囲で設定する。

スーパーのお客さまにおける主な節電例

- <照明> 店舗の照明を半分程度間引きする。また看板や外部照明、駐車場の照明も半分程度間引きする。
- <照明> 使用していないエリア(事務室、休憩室)や不要な場所(看板、外部照明、駐車場)の消灯を徹底する。
- <空調> 暖房を使用する必要がある場合、店舗の室内温度を20℃を目安とし、無理のない範囲で設定する。
- <冷凍冷蔵> 業務用冷蔵庫の台数を限定、冷凍・冷蔵ショーケースの消灯、凝縮器の洗浄を行う。

今冬の電力需給対策について(国)

(要点・抜粋)

■今冬の需給対策の基本的考え方

計画停電の実施や需給ひっ迫による停電の発生を回避するため、以下の対応を行う。

(1)供給面

- ① 引き続き、供給力の積み増し努力を続けていく。
- ② 日々の電力システムの運用において、各社の需給状況を踏まえつつ、更に機動的な相互の融通を行うことで、需給が逼迫する地域の需給バランスを確保できるような対応を行う。

(2)需要面

供給力の最大限の積上げを行った上でもなお存在する需給ギャップについては、ピーク期間・時間帯の使用最大電力(kW)の抑制(節電)により対応する。節電に当たっては、経済社会への影響を最小化するため、以下の考え方に基づいて行うこととする。

- ① 電気事業法第27条に基づく電気の使用制限は行わない。
- ② 具体的な節電の要請に当たっては、経済活動や国民生活の実態に応じた、きめ細かな対応を求める。

■今冬の需給対策

上記基本的考え方を踏まえ、今冬の需給対策として、以下の対応を行う。

(1)東日本

- ① 東北電力管内の予備率は▲3.4%(1月)となるが、被災地の復興需要に配慮し、今夏同様、東京電力及び北海道電力からの融通を最大限活用し、供給力を確保する。
- ② 他方、電源脱落等のリスクに備える必要があること等に鑑み、需要家の方々に対して、国民生活及び経済活動に支障を生じない範囲での使用最大電力の抑制(具体的には、照明・空調機器等の節電など)を要請する(具体的な数値目標は示さない。)。
節電期間：12/1(木)～3/30(金)の平日(12/29,12/30,1/3,1/4を除く) 9:00～21:00

<情報提供等>

電力需給の逼迫が予想される場合には、電力会社において需給調整契約の最大限の活用により大口需要家等の需要抑制を行うとともに、政府において「需給逼迫警報」を発令し、すべての需要家に対して一層の節電を要請する。

(参考) 各地域の節電要請(ピーク期間・時間帯の使用最大電力(kW)の抑制)

- <関西電力管内> ① 節電目標：大口需要家・小口需要家・家庭それぞれ前年同月の使用最大電力の▲10%以上の節電
② 節電期間：12/19(月)～3/23(金)の平日(12/29,12/30,1/3,1/4を除く) 9:00～21:00
- <九州電力管内> ① 節電目標：大口需要家・小口需要家・家庭それぞれ前年同月の使用最大電力の▲5%以上の節電
② 節電期間：12/26(月)～2/3(金)の平日(12/29,12/30,1/3,1/4を除く) 8:00～21:00

1 基本的考え方

【(1)幅広く恒常的な省エネ運動の展開】

県の新たなエネルギー戦略の柱の一つである省エネルギー対策の促進とともに、地球温暖化対策の推進に向け、幅広い省エネルギー運動を展開する。

また、健康には十分留意しつつ、無理なく楽しく取り組める運動とすることにより、恒常的な取組みに繋げていく。

【(2)家族団らん、楽しい省エネ運動】

家族がひと部屋に集まって過ごしたり、地域の行事に積極的に参加するなど、省エネの取組みを通して、家庭や地域の絆の強化やライフスタイルの転換に繋がるような運動を目指す。

【(3)自主的な参加による節電】

被災した発電所等の復旧は徐々に進んではいるものの、電力需給バランスは依然として厳しい状況が続くと予測されている。このため冬期においても、今夏の節電運動を契機に県民各層に醸成された節電意識やエネルギー問題に対する関心の高まりを一過性に終わらせることなく持続し、県民の自主的な参加による節電への協力を呼びかけていく。

【(4)関係機関との連携】

運動の推進にあたっては、市町村や東北電力等の関係機関と十分な連携を図りながら実施する。

【(5)県庁の取組み】

県の庁舎・施設等においては、「冬のエコオフィス運動」等に基づき、県民に率先して運動に取り組む。

2 節電の取組み

東北電力では、冬期の最も電力需要が多い1月には3.4%の電力不足が懸念されている。(平成23年11月時点の需給見通し)

節電の目標値は定めないが、こうした電力需給の見通しを踏まえ、経済活動や県民生活に支障が生じない範囲での自主的な節電の取組みを広く呼びかける。

- ①家庭：健康に留意し家庭生活に支障が生じないよう、夏期の節電のノウハウ(※)も活かしながら、各家庭の自らの判断による無理のない取組みを基本とする。(※)・待機時消費電力の削減(4%) (テレビなどの使わない機器はプラグを抜く等) ・不要な照明のこまめな消灯(4~6%)
- ②企業等：生産活動等に支障が生じない範囲で、各企業の実態に応じた自主的な取組みとする。

3 実施期間

12月~3月 (11月はPR期間)

4 県民運動の概要

- (1) 推進主体： 県（環境やまがた推進本部）、山形県地球温暖化防止県民運動推進協議会
- (2) 実施対象： 県内企業、各家庭など県民全体（病院及び福祉施設等を除く）
- (3) 実施内容：

- ◆運動の柱
 - ライフスタイルの見直しによる幅広い省エネの実施（家庭・地域の絆の強化）
 - 電力需要のピークカットと総量削減に向けた節電の実施（取組みの相乗効果）
 - 県民の主体的な参加による運動の展開（県民の英知を結集）

「省エネ冬の県民運動」

【省エネ・節電対策事業】

- ① 家庭のアクション事業の展開(節電関係は12～2月) ⇒登録目標2万世帯
 - ・家庭における省エネや節電への取り組み内容を登録→実践→結果報告(インセンティブとして、参加者には抽選により企業協賛賞品を提供)
- ② 事業所のCO2削減推進事業への参加促進
 - ・事業所におけるCO2自主削減計画策定やエコスタイル、エコ通勤等の省エネ行動促進のためのセミナー開催やアドバイザー派遣等
 - ・無料省エネルギー診断事業等を活用した企業等の省エネ対策支援

【普及啓発事業】

- ① 省エネ・節電セミナーの開催
 - ・県内の数会場において、主に家庭及び小口需要家を対象とした専門家による省エネ・節電セミナーを開催
- ② 省エネ・節電事例集の作成、全戸配布
 - ・家庭向けの「省エネ・節電事例集」を作成し、市町村の協力を得て県内全戸に配布
- ③ 個別企業訪問等の実施
 - ・夏期の節電の取り組みを踏まえ、さらに協力が必要と思われる事業所や施設等に対し、個別訪問等による周知・啓発
- ④ 県民の省エネ・節電アイデア、標語等の募集
 - ・県民の主体的な参加促進として、省エネ・節電に関するユニークなアイデアや標語等を募集・紹介(優秀事例に対しては、企業協賛賞品を提供)

《広報計画》

(1)ポスター、チラシ等による周知

- ① 省エネ・節電を呼びかけるポスター、チラシの作成・配布、公共施設等への掲示
- ② 県庁舎・総合支庁舎等への「横断幕」の掲示

(2)各種広報媒体を活用した周知

- ① 県・市町村発行広報誌等の活用(「県民のあゆみ」やフリーペーパー、市町村広報誌等を活用した呼びかけ)
- ② テレビ、ラジオ、新聞等の活用(県の広報番組枠を最大限活用した呼びかけ)
- ③ 県ホームページへの掲載(県ホームページでの情報提供と、市町村及び関係団体ホームページとのリンク)
- ④ ツイッターの活用(県民運動の実施状況や県民のアイデアの紹介等、タイムリーな情報発信)

(3)各種会議やイベント、集会等における周知

- ① 各種会議やイベント等の機会をとらえたチラシ・パンフレットの配布

5 停電予防措置等

(1)電力需給状況等の情報提供

電力需給状況や電力需要予想について、県民が常時タイムリーに把握できるよう、東北電力と連携しWEBサイト等による速やかな情報提供に努める。

(2)緊急時の対応

電力脱落等により需給が急激に逼迫した場合には計画停電等の可能性も否定できないことから、緊急時における関係機関との連絡体制として、夏期において整備した連絡網を維持・活用し、迅速な情報伝達を図るとともに、市町村等の協力のもと、暖房機器の使用抑制など需要削減への緊急的な取り組みについて、県民に対し要請等を行う。

(表)

健康に注意して無理のない範囲で
節電の取組みを!


がんばろう
東北!

省エネ冬の県民運動 実施中!

ご協力よろしくお願いします

家族団らん 楽しい省エネ運動

実施期間 平成23年12月～平成24年3月



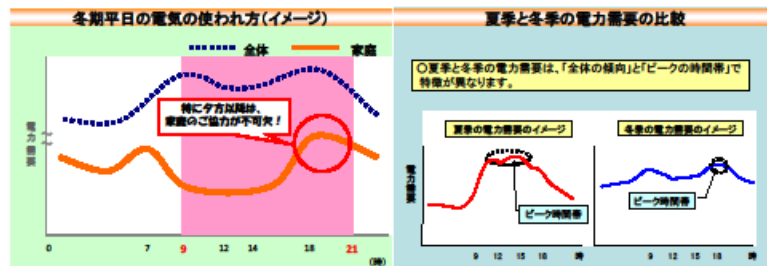
冬期は、暖房機器の使用等によりエネルギーの消費が増える季節です。
夏期に取り組んでいただいた節電県民運動のノウハウを活かし、日常生活の中で、できる範囲で省エネに取り組みましょう。

■省エネ冬の県民運動の柱

- ライフスタイルの見直しによる幅広い省エネの実施（家庭・地域の絆の強化）
- 電力需要のピークカットと総量削減に向けた節電の実施（取組みの相乗効果）
- 県民の主体的な参加による運動の展開（県民の英知を結集）

節電の取組みのお願い

節電の目標値は定めませんが、それぞれのご事情に応じた自主的な節電にご協力をお願いいたします。



山形県地球温暖化防止県民運動推進協議会

(裏)

ご家庭の節電メニュー

最も需要が多い1月には3.4%の電力不足が予測されています。特に『こまめな消灯』と『待機電力のカット』に重点的に取り組みましょう!!

対象	対策メニュー	節電効果(削減率の目安)
照明	不要な照明をこまめに消す	4~6%
待機電力	リモコンではなく、本体の主電源を切る	4%
	使わない電気機器のプラグを抜く	

ほかにも

対象	対策メニュー	節電効果(削減率の目安)
エアコン	重ね着をして室温20℃を心がける	7%
	窓に厚手のカーテンをかける	1%
	フィルターを2週間に1回程度、掃除する	
冷蔵庫	温度設定を『弱』にする	1%
	つめこみすぎない	
ジャー炊飯器	保温機能は使用せず、1日分まとめて炊く	1%
こたつ	上掛けを活用し、暖気を逃がさない	
電気カーペット	人のいる部分だけ温める	
家族	家族そろって1部屋で過ごす	効果絶大

出展・参考：経済産業省「冬期の節電メニュー(ご家庭の皆様)」



省エネに取り組む際に御注意ください

- インフルエンザが流行する季節ですので、健康に留意して、無理のない範囲で取り組んでください。
- 高齢者や慢性の病気をお持ちの方などは、浴室・脱衣所・トイレなど、肌を露出する場所の温度管理(寒さ対策)には十分気をつけてください。
- ガス・石油ストーブ等を使用される時は、窓を開けるなどして必ず換気をしてください。
- 洗濯物や布団などは、ストーブの近くに置かないでください。

お問合せ先 山形県生活環境部地球温暖化対策課 地球温暖化対策担当

TEL 023-630-2336 FAX 023-630-2133 <http://www.pref.yamagata.jp>